

トルコ地震災害に係る総務大臣感謝状贈呈式及び 消防庁長官表彰式並びに活動報告会の開催

総務課・参事官付

1. 総務大臣感謝状贈呈式

令和5年2月6日に発生したトルコ地震災害に伴い、同月6日から15日までの間、同国に派遣され救助活動を行った国際緊急援助隊員に対する総務大臣感謝状の贈呈を行いました。

贈呈式では、松本総務大臣から全隊員に感謝状が手渡され、その後の挨拶では、「国際緊急援助隊の中核となって活動されたことを総務大臣として誇りに思います。」
 「今後も、消防の責務を果たし、地域の安心・安全の確保に向けてより一層ご活躍をされることを期待いたします。」と、労いの言葉とともに感謝の意が伝えられました。



松本総務大臣から国際緊急援助隊員へ感謝状を贈呈

日時 令和5年7月20日(木)

11:00~11:25

場所 消防庁会議室

総務大臣感謝状受賞者(国際緊急援助隊員17名)

| | | |
|------------|-------|-------|
| 総務省消防庁 | 国際協力官 | 遠藤 崇 |
| 東京消防庁 | 消防監 | 早坂 誠 |
| 〃 | 消防司令 | 武田 賢二 |
| 〃 | 消防司令 | 三好 慎悟 |
| 〃 | 消防司令 | 佐藤 良太 |
| 〃 | 消防司令補 | 中村 秀雄 |
| 〃 | 消防士長 | 比良 貴人 |
| 福岡市消防局 | 消防司令 | 平田 元記 |
| 〃 | 消防司令補 | 堤 良介 |
| 〃 | 消防士長 | 山下 将史 |
| 広島市消防局 | 消防司令 | 上野 健 |
| 〃 | 消防司令 | 樋高 辰哉 |
| 〃 | 消防司令補 | 松本 祐也 |
| 茨城西南広域消防本部 | 消防司令補 | 長妻 秀一 |
| 上越地域消防局 | 消防司令 | 岡田 俊介 |
| 徳島市消防局 | 消防司令補 | 遠藤 博信 |
| 宮崎市消防局 | 消防司令補 | 一井 亮太 |



松本総務大臣(前列中央)、原消防庁長官(前列大臣右側)、澤田消防庁次長(後列左端)、田辺国民保護・防災部長(後列右から2番目)、小泉参事官(後列右端)、その他は、国際緊急援助隊員と隊員を派遣した消防本部の幹部

2. 消防庁長官表彰式

総務大臣感謝状贈呈式に先立ち、トルコ地震災害に伴い同国に派遣された国際緊急援助隊員に対する消防庁長官表彰式を行いました。

表彰式では、原消防庁長官から全隊員に章記及び国際協力功労章が手渡されるとともに、隊員を派遣した消防本部に対して賞状が授与されました。

日 時 令和5年7月20日(木)

10:20～10:50

場 所 消防庁会議室



原消防庁長官から国際緊急援助隊員へ章記及び国際協力功労章を授与



原消防庁長官から消防本部代表者へ賞状を授与

3. 活動報告会

総務大臣感謝状贈呈式及び消防庁長官表彰式終了後、隊員から現地活動についての報告が行われました。

はじめに派遣隊員のうち遠藤副団長(消防庁)及び早坂中隊長(東京消防庁)から活動報告があり、その後、隊員一人ひとりが隊での役割と活動に関する感想を述べました。

遠藤副団長からは、発災直後の消防庁及び関係消防本部の動きから、被災地までの移動、捜索救助活動、帰国までを時系列で報告するとともに、今回の派遣をいくつかの点から総括しました。中でも、国際緊急援助隊の活動の早期開始を目指して、先遣隊について、事前に関係省庁間でその構成やミッションを協議し、その内容及び有用性を共有していたことが功を奏し、遠方の被災地でありながらも、発災より40時間程度で、最初の捜索救助活動に着手できた点とともに、夜間は気温が氷点下となる過酷な状況の中でも、隊員は最後まで高い士気で捜索救助に従事していたことが強調されました。



遠藤副団長からの活動報告

早坂中隊長からは、「要救助者の生存可能性と活動環境を並べて考えた結果、転戦することを決心した現場があった。転戦について要救助者のご家族に説明した際にも感謝の言葉を頂き、胸が締め付けられた。先輩の回顧録に「たとえ要救助者の命が救えなかったとしても、消防の献身的な姿というのは残された遺族の心の救いとなるということを心に秘めておいて欲しい。」という言葉がある。私自身、人の心を救う事ができるようにしていきたい」との報告がありました。

最後に個々の隊員が今次の派遣を振り返りながらコメントをし、「気温が低く初動は資機材が少ない中で活動せざるを得なかったが、派遣に至るまでにたくさんの方が支援してくれたことに感謝する。」「救助力が劣勢は想定できたが、現場の多さから優先順位付けや苦渋の転戦でもどかしさを経験した。この経験をこれからの現場に活かしていきたい。」「現場ではトルコの方々から感謝の言葉を多くもらい、気持ちが奮い立った。たとえ御遺体であっても家族の元へ届ける気持ちを持ち続けながら活動した。」などの感想が述べられました。

その後、消防庁幹部から現地の様子や派遣体制についての質問があり、代表者が回答するなど、限られた時間ではありましたが、大変、有意義な報告会となりました。



早坂中隊長からの活動報告



各隊員からの派遣に関する所感